

## 医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学感染制御医学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成29年2月 福島県立医科大学医学部感染制御医学講座 講座主任 金光敬二

【研究課題名】 福島県内の節足動物媒介感染症に関する調査

【研究期間】 令和29年2月～令和6年1月

### 【研究の意義・目的】

近年、節足動物を介した感染症（以下、節足動物媒介性感染症）は非常に注目を受けている。例えば、マダニにより媒介されるウイルス性熱性疾患である重症血小板減少症候群（SFTS）は診断を誤り放置されれば死に至ることも多く、適切な診断と初期対処が重要である。他にも、リケッチア・ジャポニカによる日本紅斑熱は東北以南でこれまで多くが診断されているが、重症例では同様に死亡例が見られる。比較的、本県に近い地域である千葉県でも日本紅斑熱の報告数は多く、本県のマダニも同じく病原体を有している可能性がある。福島県はつつが虫病の好発地域であるが、これはオリエンティア・ツツガムシによって引き起こされ、リケッチア感染症の一つである。さらに、福島県では戦前より野兎病症例の報告も見られるが、この原因となる野兎病菌も一部、野兎のみではなくダニが媒介する可能性が示唆されている。

上記のような背景から、本研究では大きく以下の3つの事項についての調査を行う。

- ① 福島県内でこれまで診断された節足動物媒介性感染症患者、あるいは、何らかの節足動物媒介性疾患への感染症が疑われながらも、確定診断に至らなかった症例を調査し、患者情報を解析する。
- ② 保存血清や病理標本などの患者検体が得られれば、リケッチア症等の節足動物媒介性感染症のスクリーニングを行う。
- ③ 福島県内の全域で節足動物を採取し、病原体保有状況について調査を行う。最終的に、節足動物の病原体保有状況と、患者発生地域との比較を行う。

### 【研究の方法】

本研究への御協力が得られた医療機関の患者様を対象に、これまでのカルテ情報などを参照させて頂き、必要な情報のみを抽出し解析を行います。この情報には個人を特定可能なものは一切含まれず、また本研究は福島県立医大内でのみ行われます。

### 【研究組織、研究機関名】

研究責任者 (所属) 感染制御医学講座 (職) 教授 (氏名) 金光敬二  
主任研究者 (所属) 感染制御医学講座 (職) 准教授 (氏名) 仲村 究  
(学内研究者)  
研究分担者 (所属) 感染制御医学講座 (職) 併任講師 (氏名) 門馬直太  
(学外研究者)  
研究分担者 (所属) 北福島医療センター リケッチア症研究所  
(職) 所長 (氏名) 藤田博己  
研究分担者 (所属) 福島県畜産研究所 (職) 酪農科長 (氏名) 壁谷昌彦

**【人体から採取された試料等の利用について】**

保存血清や病理標本などの患者検体が残っていれば、未検の節足動物媒介性感染症のスクリーニングを行う。

**【本研究に関する問合せ先】**

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1  
公立大学法人福島県立医科大学医学部感染制御医学講座 担当 仲村 究  
電話:024-547-1348 FAX: 024-548-6016  
E-mail:kinakamu@fmu.ac.jp

**【試料・情報の利用を望まれない場合の連絡先】**

試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1  
公立大学法人福島県立医科大学医学部感染制御医学講座 担当 仲村 究  
電話:024-547-1348 FAX: 024-548-6016  
E-mail:kinakamu@fmu.ac.jp